

NHK と神戸新聞にもあがりました。

- ◆ NHK から取材を受け 2016 年 2 月 23 日 (火) 18 : 30 ~ NHK 神戸放送局「ニュース神戸発」の中の「あの日を胸に」で当楽団が紹介されました。 <http://www.nhk.or.jp/kobe/program/001/index.html>
- ◆ 神戸新聞 2016 年 (平成 28 年) 2 月 10 日 (水) 夕刊 9 面トップに掲載されました。神戸新聞 NEXT でも記事がご覧いただけます。
<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201602/0008794130.shtml>

「阪神・淡路」高2で逝った親友の夢



合奏団の結成から10年を振り返り、「彼女も喜んでくれていると思う」と語る森左介さん＝神戸市灘区篠原南町1の事務局

楽団10年 慰問の旋律

神戸市灘区を拠点に病院や福祉施設などで慰問コンサートを続けるNPO法人「室内合奏団THE STRINGS (サ・ストリングス)」が、22日で結成10年を迎える。結成のきっかけは、チェロ奏者で理事長の森左介さん(38)「向市灘区」が高校2年の時、共に音楽大学への入学を目指した親友の女子生徒を、阪神・淡路大震災で失ったことだった。親友の「幅広い世代、立場の人に音楽を届けたい」との遺志を森さんは演奏に込める。(秋山亮太)

神戸、チェロ奏者森さん

京都府亀岡市出身の森さんは高校2年の夏、志望していた音大で、音楽の基礎知識や聴音能力などが一定水準に達していると認定されれば入試の一部が免除される「到達度テスト」を受けた。その会場で、バイオリン奏者を見える同学年の女子生徒に出会った。「いろ

東北被災地など360カ所で演奏

んな人に楽しんでもらおうのが、自分の目指す音楽と目を輝かせて話す彼女と息を合わせた。神戸市灘区に住んでいる女子生徒とは、入試本番に向けて腕を磨こうと、神戸や大阪のスタジオで合奏や音楽談義を重ねた。「お互い、将来は自分の楽団を立ち上げる」と約束した。

だが、高校2年の冬の1995年1月17日、震災で女子生徒の自宅が倒壊した。彼女がなくなると聞いたのは数日後、現実を受け入れられず、葬儀にも参列できなかつた。森さんは高校3年の秋に音大の推薦入試に合格したが、入学後も毎年1月17日が近づくと、女子生徒と合奏した日々を思い出して胸が詰まった。音大を卒業後、個人増えた。観客に「ありが



東日本大震災で被災したお年寄りに演奏を披露する森左介さん(右)ら。2015年6月、福島市内(THE STRINGS提供)

事務局 ☎ 078・203・8038